

かけはし



福島市立平田小学校 学校だより No. 2

自分で考え 力を合わせ
夢に向かって 最後まで

臨時休業の延長について

「令和2年4月8日より、市立小・中・特別支援学校全校を一斉臨時休業としてきましたが、全国的に出された緊急事態宣言による福島県知事からの要請を重く受け止め、市立小・中・特別支援学校全校の一斉臨時休業を延期することとしました」とした福島市教育委員会の決定を受け、本校では下記により対応することといたします。年度初めの大切な時期の休校延長ということで、保護者の皆様にはご心配とご負担をおかけいたしますが、新型コロナウイルス感染拡大を抑制するための措置であることをご理解のうえ、いっそうのご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 臨時休業延長の期間 令和2年4月22日（水）～5月6日（水）〔15日間〕

2 臨時休業中の留意点

【学習について】

- ・学習課題等は登校日に指示いたします。
- ・福島市学校ポータルサイトの学校教育課ホームページに「元気あふれる福島の子ども学びの広場」が開設されています。そこにあるワークシート、ICT教材、動画等を活用願います。
- ・読書の充実を図るために登校日に図書の貸し出しを行います。この機会に読書に親しむ習慣を身につけさせてほしいと思います。
- ・体力づくりのために、家庭でも安全にできる運動を行わせてください。（例えば、なわ跳び、体操、ストレッチ等）※前出の「元気あふれる…学びの広場」にも参照動画有。

【生活について】

- ・引き続き不要不急の外出を控えるとともに、手洗い、うがい、マスクの着用等感染防止対策の徹底をお願いします。
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣など、規則正しい生活のリズムの維持についてご指導願います。
- ・保護者が不在の際の対応について以下を参考にご指導願います。
 - 玄関や外から人が入ることができる窓の施錠をする。
 - 知らない人が訪ねてきても、玄関の鍵を開けない。
 - 保護者との連絡をとれる手段を確認しておく。

3 学校開放について

今回の臨時休業の延長は緊急事態宣言を受けたもので、より感染防止に努めるという趣旨から、基本的には学校開放は行いません。ただ、どうしても子どもの居場所が確保できないという場合には学校にご相談ください。

いじめ・差別は絶対に許さない！

最近、新型コロナウイルスの感染状況を確認するためにネットニュースなどをみる機会が多いのですが、その中でとても気になることがあります。それは感染状況を伝えるニュースへのコメント欄などに不幸にも感染してしまった人たちへの差別的な言動が散見されることです。郡山の大学教員の感染が判明した際にも、その大学のみならず系列の高校生にも心無い言葉が浴びせられたことがあり、通学の際には当該高校の生徒であると判別されないように私服で登校するよう指導したことがあったそうです。コロナがいじめや差別の新たな火種になりそうだと危惧していたところ、ちょうど4/19付朝日新聞に「コロナと差別 社会の荒廃を防ぐために」という社説が載っていましたので、抜粋して紹介します。

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない。国内で確認された人は1万人を超えた。世の中を閉塞感が覆い、普段は見えにくい社会の矛盾や病理が様々な場面で噴き出す。そのひとつが、感染者に対する差別的な言動だ。(中略)

感染したことを本人の落ち度や責任感の欠如の表れであるかのようにとらえ、不当な扱いをするのはおかしい。

密閉・密集・密接を避け、手洗いを心がけていても感染してしまうことは起こりえる。また、無症状でも感染している場面があることが、ウイルスの特徴として知られるようになった。自分と感染者との間に線を引き、相手を異物として排除するような風潮は間違っている。(中略)

感染者と接することが仕事の医療従事者が、心ない仕打ちを受けたという声も数多く聞く。(中略) 被害は子どもや家族にまで及ぶという。(中略) 厳しい環境下で奮闘する医療従事者を、このような形でさらに追い詰めれば、医療崩壊を助長するだけだ。欧州で始まった運動のように、今は拍手を送って感謝と支援の思いを伝えるときだ。配送業等社会に欠かせない仕事をしながら同様の苦境にある人にも、温かいまなざしを送りたい。(中略)

歴史をふり返れば、感染症は差別や嫌がらせと分かちがたく結びついてきた。ハンセン病患者の隔離が、大きな禍根を残したことは記憶に新しい。

長丁場にあるウイルスとの闘いで、命や暮らしを守るには、社会の風通しをよくすることが欠かせない。二次的に起きる差別や社会の荒廃は、一人ひとりの心の持ち方によって食い止めることができる。

思えば9年前、私たち福島県民は原発事故により、いわれのない差別や風評被害にさらされた経験があります。当時は被害者でしたが、今度は加害者になる可能性もあります。コロナウイルスも放射線同様その性質を理解し、「正しく怖がり、冷静に対応」すべきものだと言えます。感染された方は「被害者」です。被害を受け苦しんでいる人を批判し、差別することは二次被害を生み出し、感染拡大が終息した後に、新たな社会問題を引き起こしかねません。コロナ感染に関わる差別や偏見は決して許されないことをご家庭でも話題にしていだきたいと思います。

学校再開に向けて

学校再開に向けて、現在次の3点を中心に準備を進めています。

- ・「3密」を生まない授業の工夫
- ・各教科の指導内容の重点化及び精選
- ・子どもたちの「自己マネジメント力」育成のための指導内容、方法の検討

特に3点目の「自己マネジメント力」の育成についてはご家庭の協力が不可欠です。家庭と学校が手を携えて、子どもの成長を後押ししていきたいと思います。

【諸連絡】

※臨時休校の延長により5月に予定していた次の学校行事は中止といたします。

・5/1 遠足 ・5/7～13 授業参観週間 ・5/26～29 家庭訪問

※国より支給された布マスクを4/23に配付いたしました。1日1回の洗濯により、おおむね1ヶ月の使用が可能となっております。洗い方については「布マスクをご利用の皆様へ<https://www.youtube.com/watch?v=AKNNZRRo74o>」をご覧ください。なお、2枚目は5月以降に配付予定です。